

非常時等の対応	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在、事業所内に保護者会はありませんが、今後はその必要性を含めて検討していきます。 また、保護者やきょうだい同士の交流については、行事等の開催を通じて交流の機会を設けられるよう検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情が寄せられた際には、速やかに適切な対応を行うとともに、第三者委員会へ報告し、助言を受けながら必要な改善に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			毎月、写真入りの広報誌を発行し、日々の活動の様子をお知らせしています。また、LINEやメールを活用し、迅速な連絡が行えるよう努めています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては規定を厳守し、十分に注意を払って適切に管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんの特性に応じて、必要な意思疎通のツールを活用しながら支援を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		これまで地域住民が参加できる行事の開催はありませんでしたが、今後は地域の方々にもご参加いただける行事の実施に向けて改善を図っていきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		避難訓練は毎月実施しており、火災・地震・水害などを交互に取り上げています。	保護者の方への緊急時・災害時マニュアルの周知や説明が不十分だったため、今後は面談での説明に加え、ホームページなども活用して周知を図っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		BCP（業務継続計画）は策定済みですが、これまで訓練の実施には至っていないため、今後は訓練の実施に向けて改善を図っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		緊急連絡表を作成し、持病・かかりつけ医・服薬状況・アレルギー等の情報をご記入いただいています。個別のてんかん発作時に備え、学校と共通の緊急対応マニュアルも準備しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーについては利用開始時に必ず確認し、緊急連絡表へ記入していただいています。現在、医師の指示書に基づく対応が必要な利用者はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全管理に関する訓練や研修の実施がこれまで十分に行えていなかったため、今後は実施に向けて改善を図っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		保護者の方への周知や説明が不十分だったため、今後は面談での説明に加え、ホームページ等も活用して周知を図っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故やヒヤリハット事案については、事業所内で報告書を作成し、全職員で回覧したうえで会議にて再発防止策を確認しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所外の研修参加や事業所内での研修・事例検討を通じて、事故やトラブルの防止に取り組んでいます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		事業所内で身体拘束に関する研修を実施しています。やむを得ず身体拘束が必要となるお子さんについては、保護者の方へ事前に説明し、同意を得たうえで計画書に記載しています。実施された場合は定期的に検証を行い、改善に向けた取り組みを行っています。また、法人内の身体拘束適正化委員会へも報告を行っています。	